

事業所名		ぱりずむ			支援プログラム			作成日		令和7 年		1 月		15 日	
法人（事業所）理念		法人：色とりどりの輝きが自然とひろがり、あちこちで「それええん！」がうまれるまちをつくります！ 事業所：あしたが楽しみ													
支援方針		○子どもの個性を大切にし、強みに目を向けます ○それぞれの抱えている課題や特性に配慮した、ひとりひとりに寄り添った個別療育を行ないます ○視覚提示(スケジュール・写真・イラスト)を活用し、分かりやすい環境を設定します ○達成感と自信を得られるよう、共感を大切にします ○先を見据えた「いま」を支援します													
営業時間		月～金 (登校日)	13 時	30 分	から	17 時	45 分	送迎実施の有無		あり なし					
営業時間		月～金 (学休日)	9 時	45 分	から	16 時	00 分								
営業時間		土	10 時	00 分	から	16 時	30 分								
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・日常生活動作・手段的日常生活動作(食事・排泄・着脱・整容・準備・片付け)の獲得 ・健康的な生活リズムを身に着けるサポート(維持・改善) ・定期的な心身の把握（日々の観察・学校との連携・面談） ・危機認知スキルの向上(SST) ・食育(食具や調理器具の使い方・調理・菜園体験)													
	運動・感覚	・感覚の特性への対応(特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や制作) リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、いろんな道具の使い方等 ・姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上 トランポリン・サーキット・マット運動・ビジョントレーニング等													
	認知・行動	・個別療育での概念形成の習得(身体部位・色・比較・位置・分類・感情概念・時間概念・数・四則演算・図形) ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防と適切行動への対応													
	言語コミュニケーション	・振り返りを行ない、具体的な体験と言葉の意味を結び付け、言語を受容し適切に表出する支援 ・個々の特性に合わせたグループワークを設定し、遊びのなかで共同注意の獲得や意思の伝達ができる支援(発表機会・ルール遊び・協力・選択) ・文字・絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選択・活用し環境の理解と意思の伝達が円滑にできる支援 ・読み書きに対する学習支援													
	人間関係社会性	・小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方と接し方の学習支援 ・自己理解、他者理解への支援(SST・社会体験・個別療育) ・社会体験や地域交流の場の設定													
家族支援		本人の理解しやすいコミュニケーション方法や様子から見られる得意な事等を口頭での引継ぎ・ソフトの提供記録・面談の機会等で伝達・共有する					移行支援		必要に応じて学校を訪問し、行事等普段と異なる活動の際の関わりについて、具体的な関わり方を提示する						
地域支援・地域連携		・個別のケース検討のための会議への出席 ・地域支援体制の構築のための会議への出席 ・教育機関の関係者等との連携 ・相談支援事業所との連携													
職員の質の向上		・管理者・児童発達支援管理責任者向け研修 法人内のリーダー層による毎月の研修・勉強会 ・育成者向け研修 オンラインアプリによる自主学習 ・新卒・中途入社研修 ビジネスマナー・コミュニケーション研修 ・全社員向け研修・会議 ①虐待防止（身体拘束）に関する研修②事故防止に関する研修③感染症に関する研修④防犯に関する研修⑤災害に関する研修⑥定期的な療育会議・職員会議・活動会議の開催 ・その他 lon1による対話機会 他者への感謝・肯定を表出する事業所内掲示板													
主な行事等		・季節の行事への参加や製作 お花見・芋堀・水遊び・ハロウィン・クリスマスパーティー等) ・法人イベントへ参加・体験機会(買い物・クッキング・公共交通機関・映画館、等)													